

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
 全労協・郵政産業労働者
 ユニオン長崎中郵支部
 機関紙「みらい」
 NO. 3887
 '18年9月7日(金)
 Fax 095-828-1953

地震のときは「原発へ逃げろと言った」ビートだけは、いま?

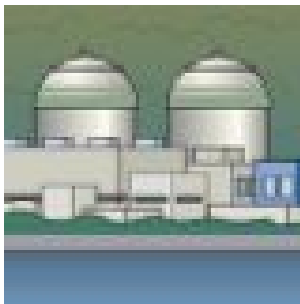
おはようございます。

昨日未明、北海道としては過去最大の震度六強の大地震が起きた。

幸い内陸部の震源であることから津波は起きなかったが、余震は続き警戒がいる。

この地震で多くの被害が出ているが、亡くなられた方々のご冥福を祈り、早急な救援や対策を求めたい。

また五日は、今年最強の台風二十一号が関西地方を直撃し、関西空港が橋の破損などで閉鎖された。また車が飛ばされるほどの強い風に、自然の怖さを改めて感じた。



異常気象とは三十年に一度の数値をさす気象用語だが、昨今はこれが通用しないレベルの台風(規模、風、雨)、地震、火山爆発、そして温暖化の酷暑だ。

長崎の大災害では、一九八二年の長崎大水害(死者一九九人)があり、台風でいうと、一九九一年の台風十九号(多くの家屋が破損した)だ。もう四十年、三十年も前の大災害だ。まさに異常だった。

しかし、昨今は異常が日常化している。この教訓でいえば、どこかで起きたことは、明日は長崎でも起こる。我が身である。そこで最大は、次の災害を予測し、備えることだ。



国レベルでいうと、警戒予測の一番が東南海地震であり、富士山などの大爆発などの火山との複合災害だ。この地域の火山爆発や地震、津波となれば、地域が首都圏だけに被害がこれまでもとけた違いと想定されている。無論近くには御前崎の浜岡原発もある。

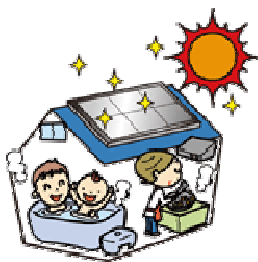
この北海道南東地震で火力発電所が止まり、六日午前現在、北海道全体の二百九十五万戸が停電し、JRも停止し、空港も閉鎖されている。北海道全体が機能停止状態だ。幸い、泊原発三基は現在停止中で、事なきを得ているようだ。

地震対策で国などは、耐震や津波対策が必要だが、原発

をとりあえず止める。これが一番ではないか。自然災害は、人力で発生を止めることはできない。しかし、原発は人が止めることはできる。自然災害は被害を最小限にすることこそ、防災の要である。

自宅の日めくりカレンダーの九月三日の格言には、「三人寄れば文殊の知恵」とある。意味は、「文殊とは知恵をつかさどる菩薩、凡人でも三人が相談すれば、文殊に劣らぬ知恵が出る」という教えだ。この名前をつけた高速増殖炉(もんじゅ)の廃炉作業が、八月三〇日から始まった。

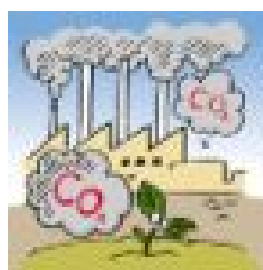
原発の中でも夢のエネルギーとして始まった「もんじゅ」も、度重なる事故などで廃炉が決まった。一兆円をかけた国家プロジェクトが破綻し、今後三十年間の時間と、三千八百億円の費用をかけて幕を閉じる。文殊菩薩こそ、いい迷惑だと怒っているだろう。



一九六〇年代から始まった原子力発電の危険性は最初か

ら指摘があり、反対の声が強かった。しかし国や電力会社は「石油がなくなる」として、全国に五二基の原発を作った

そして二〇一一年三月十一日の東日本大震災の津波により、東京電力・福島原発が爆発事故を起こし、東北全体へ被ばく被害が及んだ。七年後の今でも、被災した古里に戻れない住民は十万人を超える、原発による人災だ。ではこの事故で、原発を進めた国と電力会社や賛成派は、いまだどういつているのだろうか。



当時、都知事だった石原慎太郎は、東日本大震災で「国民の我欲が地震を招いた」として「地震は天罰」と語り批判された。

また俳優の伊東四郎は、二〇一一年五月号の文芸春秋で、友人からのメールとして「左翼政権のときに、天変地異がありますよ」と書き、民主党政権のせいで地震が起きたといわんばかりに嗤っている。メール者は匿名だが、原稿の責任上、伊東の発言となる。地震は自然現象で、政



治とは無関係だ。では二年前の熊本地震では自民党政権だったか、伊東はいまどういつているのか。無責任な放言だ。また、この地震の前年、お笑いタレントのビートたけしは「新潮」六月号の対談で、「原発を批判する人たちは、『地震が起きたらどうする』というが、原発は地震が起きても大丈夫なように、他の施設以上に気を使っている。地震が起きたら、本当はこへ逃げるのが一番安全だったりする(笑)。でも新しい技術に対しては、『危険だ』と叫ぶオオカミ少年のほづが、マスコミ的にはウケがいい」と。反対派を冷笑している。

対談相手は、原子力委員会の近藤駿介委員長だ。翼賛発言だが、彼はこの東日本地震のとき、福島原発に逃げ込んだのか。いま、彼はそんなことは素知らぬ顔で、相変わらず大御所として言いたい放題だ。マスコミには無責任な放言者が多いがたまされまい。彼らは放言を訂正し、福島の人たちに謝罪したのか。

、今日は裏面があります。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化する。

めぞせ、均等待遇、なくそう差別!

ユニオンは労務法裁判に勝利するぞー!

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口 ゆうちよ銀-上筋, 東-, 他支部・分会の役員へ。

原発推進派はいまも反省もないし、変わっていない。先日テレビで、もんじゅ破綻を批判されて、ある人は「科学は試行錯誤をするもの。今度のはたまたま失敗がもんじゅだったこと。人的被害もないし、問題ない」と平然と言いつつ

一兆円をかけて開発し、今後二十年と三千八百億円をかけて閉鎖作業が続くもんじゅだが、燃料としたナトリウムを取り出しや保存など、すべて不透明なままの廃炉だ。しかしナトリウムは水や空気に触れただけで発火するだけに、今後への不安は強い。



そして二〇一一年三月の原発事故後、国は全国の原発をすべて止め、新基準をつくり、安全点検を行っている。

結果、再稼働の原子炉は九州と北陸などの八基である。相変わらず過疎の地方だけ、試験的に稼働させるやり方だ。あとの原発は、審査中か未申請、廃炉決定が二基である。稼働率は十五%でしかない。

事故後、大きく変わったの

は、原発なしでも停電しないこと。原発の地元の知事が簡単に再稼働許可を出さないことが顕著となり、一方では再利用可能エネルギーへの転換が進んだことだ。



今年、この酷暑の中でも、原発なしで電力は足りたし、「原発なしでは停電」と脅した電力会社のウソがばれた。結果として、国民の意識がはつきり、原発やむなしから、太陽光発電などの、安全性に配慮した、再利用可能なエネルギーがいいとなってきたのだ。

そこで、九州電力が動いた。九電は自身が持つ川内と玄海の原発の再稼働に成功した結果、この九月にも、太陽光発電の停止を各事業者に求めるという。原発と太陽光発電が重なれば、電気が余り、利益が薄くなる。

よって、九電が太陽光発電の電気を買い取らないのだ。これは国のルールで決められている「出力制御」だといつ。ここでも九電は原発優先の愚

を再び犯している。反省のない会社だ。

原発と太陽光発電。どちらが安全で、どちらが安いのかは、福島東電の原子炉廃炉の莫大な費用負担で明々白々だ。そして一兆円を投資して、夢のプロジェクトとした国策「もんじゅ」の破たんが、これをより証明する。

八月に出た「一千億企業業績ランキング」の九州版では、一位が九電の一兆八千三百五億円。二位がトヨタ自動車九州の一兆五二七億円。三位がソニーで五二六一億円。九電は四一年連続トップだ。



九電は何年も原発が動かなかったときも、業績がトップであったことを思えば、原発だのみの九電ではなく、ほかの発電への転換を試すべきである。

東電は事故以来、多額の修復費用、廃炉作業費用で、事実上破産状態にある。また今後くる莫大な損害賠償に心じきれないことも明らかである。

会社経営の目的は、株主への配当。働く人の賃金支払い。地域への貢献である。原発事故で地元を被災させ、自らも破産する電力会社は、それぞれの人々の望むところではあるまい。まさに国民への加害企業となるからだ。

転ばぬ先の杖。東電・福島原発事故を他山の石として、原発依存の事業から脱原発への転換をすることは、正しいことである。もんじゅとはこつした知恵を指す言葉だ。かみしめてもらいたい。

九州の100億円企業ランキング			
順位	会社名	売上高	所在
1	九州電力	1兆8235億円	福岡
2	トヨタ自動車九州	1兆 527億円	福岡
3	ソニー	5161億円	熊本
4	コスモス薬品	5027億円	福岡
5	日産車体九州	4211億円	福岡
6	TOTO	4002億円	福岡
7	アステム	3688億円	大分
8	トライアルカンパニー	3665億円	福岡
9	ヤマエ久野	3573億円	福岡
10	九電工	3261億円	福岡

朝日新聞 8月28日号から